

保護者の皆様へ ご報告とお願い

去る2月25日(火)に開催された令和元年度 PTA 三役および令和2年度 PTA 三役による新旧合同役員会におきまして、下記の2点について協議をしていただきました。その結果等につきましては、令和2年度 PTA 総会の場で、川島 PTA 会長様より保護者の皆様へ説明をしていただく予定でした。ところが、前回の学校だよりでもお知らせいたしましたように新型コロナウイルス感染拡大防止のために PTA 総会を中止させていただきましたので、この紙面にてご報告させていただきます。どうかご理解とご協力をお願いいたします。

① 校内遠泳大会の協力依頼について

【協議内容】

遠泳大会は3回の海練習を含めて平日開催のために、保護者による児童の安全確保のための協力が得にくい日程となっています。児童の伴泳については、本校教職員はもちろんのこと、小浜市水泳協会や県立大学ライフセービング部の皆さんの協力をいただいているところです。また、保護者や地域の方々の協力によるボートによる移動観察や固定観察の協力も得ながらこれまで実施させていただいております。近年では、多方面からライフセービング部への協力依頼があり、本校では2~3名の協力をいただいております。年々、伴泳者が少なくなっており、子どもたちの安全確保については十分とはいえない状況となっています。

そこで、これまでの海岸から50m離れたところをコの字型に泳ぐコースから、海岸近くを平行に泳ぐコースに変更いたします。保護者の皆様には、背の届きぎりぎりの場所に固定観察員として立っていただき、児童はその外側を泳ぐことにしました。これによって、万一の際には固定観察の保護者から浮き輪あるいはビート板を手渡していただくことで安全確保を強化したいと考えました。コース変更の趣旨を踏まえて、保護者による固定監視の協力依頼をさせていただきました。

【協議結果およびその理由】

泳ぐコースの水深はかなり浅くなるものの、足がつかない所を泳ぐことには変わりありません。万一、児童が泳いでいる際に自分で異変を感じたときには、自力で何とか5m程度岸に向かって泳げば足がつくという安心感があります。また、固定観察の保護者が近くにいてくれるため、もしもの時にはビート板や浮き輪で助けてくれるという心理面での支えにもなります。協力はしたいが、伴泳には不安や抵抗がおありの保護者の方にも協力していただきやすくなります。

コース変更について役員の方々にご理解いただき、「PTA役員の方々が中心となって保護者の皆様への協力を呼びかけていただくこと」を確認いたしました。

***今年度については、遠泳大会は中止させていただきます。**



② 夏季休業中の PTA プール開放について

【協議内容】

毎年、夏休み前半の平日の午後、PTAによるプール開放を実施していますが、万一事故が発生した際の責任の所在や、近年の猛暑によって利用する児童及びプール監視をしていただく保護者の皆様の熱中症が大きな課題となっています。「熱中症予防のための運動指針」に従って、ここ2年間は暑さ指数(WBGT)が31℃以上の際にはプール開放を中止していました。その結果、昨年は1回の実施であり、一昨年は実施できませんでした。昨年秋には、全保護者に「夏休みプール開放についてのアンケート」を記入いただき、子どもや保護者、あるいは監視当番をする立場で様々なご意見をいただきました。その結果を参考資料として、令和2年度のプール開放のあり方についての協議をしていただきました。自由記述からは、暑さ指数がより低い午前中の開放を希望する意見も見られ、時間帯を午前中に変更することも含め、慎重に協議していただきました。

【協議結果およびその理由】

2年間でわずかに1回しか実施できないという現状から、暑さ指数という物差しで運動を制限しなければならないほど、熱中症予防のための意識や身体への危険度が高まっていることを考慮する必要があります。水の中にいる児童以上に、プールサイドで約2時間の監視をする保護者にとっては危険な暑さです。午前中の涼しい時間帯に実施できればよいのですが、中学校の部活動でも10時頃には運動制限がかけられるほど肉体的にはかなり厳しい暑さとなっています。また、どの時間帯であろうと、事故が発生しないという保証はありません。加えて、学校近くには専門の監視員のいる温水プールがあり、こういった状況の中であえてプール開放を行う必要性が低いという理由によって、今年度はPTAプール開放を実施しないこととさせていただきます。

